

# SMBCフレンド・ HSBC ブラジル債券ファンド (毎月決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年10月31日～2018年10月22日	
運用方針	ブラジル債券ニューマザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国(「ブラジル」)の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	SMBCフレンド・HSBC ブラジル債券ファンド(毎月決算型)	ブラジル債券ニューマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル債券ニューマザーファンド	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	SMBCフレンド・HSBC ブラジル債券ファンド(毎月決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ブラジル債券ニューマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限り、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時(毎月22日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## 運用報告書(全体版)

第103期	(決算日)	2017年5月22日)
第104期	(決算日)	2017年6月22日)
第105期	(決算日)	2017年7月24日)
第106期	(決算日)	2017年8月22日)
第107期	(決算日)	2017年9月22日)
第108期	(決算日)	2017年10月23日)

## ◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SMBCフレンド・HSBC ブラジル債券ファンド(毎月決算型)」は、2017年10月23日に第108期の決算を行いましたので、第103期～第108期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## HSBC 投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング  
 ≪お問い合わせ先(クライアントサービス本部)≫  
 電話番号: 03-3548-5690  
 (営業日の午前9時～午後5時)  
 ホームページ: [www.assetmanagement.hsbc.com/jp](http://www.assetmanagement.hsbc.com/jp)

◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	税込み 分配金		債券組入 率	債券先物 率	純資産 総額
			期騰落 率	中 率			
第14作成期	第79期 (2015年 5月22日)	円 7,476	円 50	% 2.3	% 90.7	% —	百万円 2,504
	第80期 (2015年 6月22日)	7,363	50	△ 0.8	95.8	—	2,429
	第81期 (2015年 7月22日)	7,366	50	0.7	97.7	—	2,406
	第82期 (2015年 8月24日)	6,388	50	△12.6	97.0	—	2,068
	第83期 (2015年 9月24日)	4,922	50	△22.2	96.6	—	1,567
	第84期 (2015年10月22日)	5,331	50	9.3	96.2	—	1,668
第15作成期	第85期 (2015年11月24日)	5,850	50	10.7	95.9	—	1,783
	第86期 (2015年12月22日)	5,231	50	△ 9.7	94.5	—	1,562
	第87期 (2016年 1月22日)	4,936	50	△ 4.7	97.9	—	1,452
	第88期 (2016年 2月22日)	5,014	50	2.6	97.4	—	1,449
	第89期 (2016年 3月22日)	5,772	50	16.1	97.0	—	1,651
	第90期 (2016年 4月22日)	5,931	50	3.6	96.6	—	1,681
第16作成期	第91期 (2016年 5月23日)	6,016	50	2.3	96.1	—	1,696
	第92期 (2016年 6月22日)	5,909	50	△ 0.9	95.5	—	1,645
	第93期 (2016年 7月22日)	6,294	50	7.4	98.7	—	1,726
	第94期 (2016年 8月22日)	6,138	50	△ 1.7	97.7	—	1,623
	第95期 (2016年 9月23日)	6,164	50	1.2	97.3	—	1,617
	第96期 (2016年10月24日)	6,542	50	6.9	97.5	—	1,675
第17作成期	第97期 (2016年11月22日)	6,440	50	△ 0.8	96.4	—	1,573
	第98期 (2016年12月22日)	6,980	50	9.2	95.6	—	1,656
	第99期 (2017年 1月23日)	7,263	50	4.8	98.7	—	1,681
	第100期 (2017年 2月22日)	7,533	50	4.4	99.0	—	1,695
	第101期 (2017年 3月22日)	7,477	50	△ 0.1	98.0	—	1,651
	第102期 (2017年 4月24日)	7,229	50	△ 2.6	97.4	—	1,562
第18作成期	第103期 (2017年 5月22日)	6,853	50	△ 4.5	96.8	—	1,464
	第104期 (2017年 6月22日)	6,841	50	0.6	96.0	—	1,443
	第105期 (2017年 7月24日)	7,379	50	8.6	99.1	—	1,543
	第106期 (2017年 8月22日)	7,191	50	△ 1.9	98.3	—	1,489
	第107期 (2017年 9月22日)	7,607	50	6.5	97.8	—	1,572
	第108期 (2017年10月23日)	7,558	50	0.0	97.3	—	1,551

(注1) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比		
第103期	(期 首) 2017年 4月24日	円 7,229	% -	% 97.4	% -
	4月末	7,201	△0.4	97.5	-
	(期 末) 2017年 5月22日	6,903	△4.5	96.8	-
第104期	(期 首) 2017年 5月22日	6,853	-	96.8	-
	5月末	6,953	1.5	97.3	-
	(期 末) 2017年 6月22日	6,891	0.6	96.0	-
第105期	(期 首) 2017年 6月22日	6,841	-	96.0	-
	6月末	6,967	1.8	95.9	-
	(期 末) 2017年 7月24日	7,429	8.6	99.1	-
第106期	(期 首) 2017年 7月24日	7,379	-	99.1	-
	7月末	7,400	0.3	98.9	-
	(期 末) 2017年 8月22日	7,241	△1.9	98.3	-
第107期	(期 首) 2017年 8月22日	7,191	-	98.3	-
	8月末	7,345	2.1	98.1	-
	(期 末) 2017年 9月22日	7,657	6.5	97.8	-
第108期	(期 首) 2017年 9月22日	7,607	-	97.8	-
	9月末	7,514	△1.2	98.0	-
	(期 末) 2017年10月23日	7,608	0.0	97.3	-

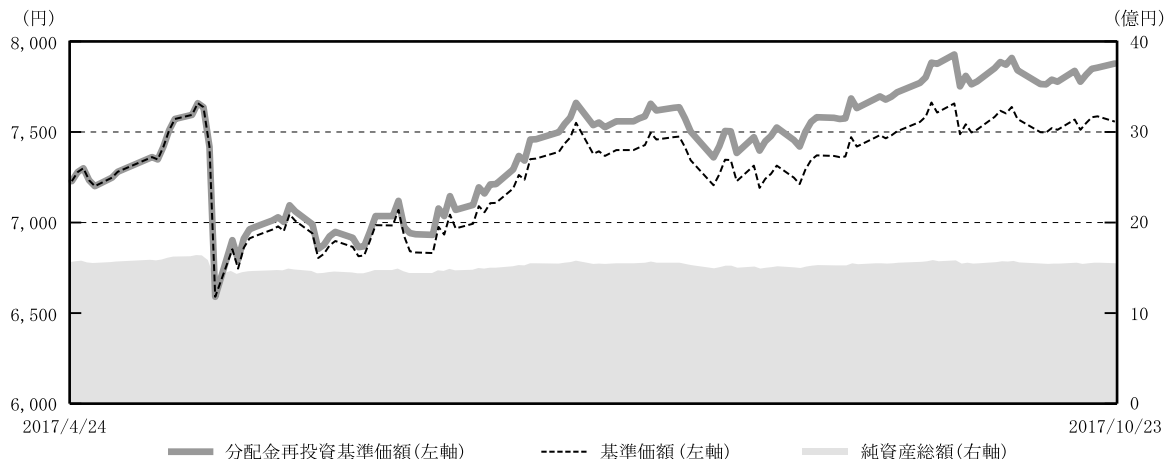
(注1) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ◎当作成期の運用状況と今後の運用方針

### 1. 基準価額等の推移について（第103期～第108期：2017年4月25日～2017年10月23日）



#### 【基準価額・騰落率】

第103期首：7,229円

第108期末：7,558円（既払分配金（税込み）：300円）

騰落率：+9.0%（分配金再投資ベース）

- \*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \*分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、それぞれのお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年4月24日）の値を基準価額と同一になるように指数化しております。

### 2. 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回り低下）と利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。

また、ブラジルリアルが対円で上昇し、基準価額にプラスに働きました。

### 3. 投資環境について

#### 【債券市況】

ブラジル債券市場は、当作成期を通じて上昇（利回りは低下）基調となりました。インフレ率の低下とブラジル中央銀行による利下げが債券市場の主な上昇要因でした。

拡大消費者物価指数（IPCA）は、2017年4月の前年同月比+4.1%から9月は+2.5%まで低下しました。インフレ率が低下する中で、中央銀行は5月、7月、9月に3会合連続で各々1%の大幅利下げを実施し、債券市場に追い風となりました。

#### 【為替相場】

当作成期初から6月半ばにかけて、安全資産とされる円が買われたことから、ブラジルレアルは対円で下落しました。6月下旬以降は、ブラジルの政治混乱の収束とそれに伴う改革前進への期待感などから、上昇基調となりました。当作成期を通じて見ると、レアルは対円で前作成期末比で小幅上昇しました。

### 4. ポートフォリオについて

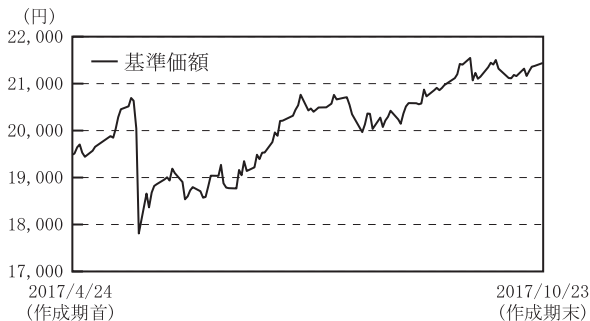
#### <SMBCフレンド・HSBC ブラジル債券ファンド（毎月決算型）>

「ブラジル債券ニューマザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資しました。

#### <ブラジル債券ニューマザーファンド>

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を33～37%程度、固定利付債は61～65%程度、物価連動国債を1.4～1.5%程度としました。

基準価額（マザーファンド）の推移



### 5. ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

### 6. 分配金について

第103期から第108期の分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも50円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 7. 今後の運用方針

ブラジル経済は回復局面に入っています。また、インフレ率は通貨レアルの堅調な推移や緊縮財政などから、引き続き落ち着いた推移が見込まれます。インフレ率は当面は目標中央値の4.5%を下回り推移する見通しであり、中央銀行は金融緩和スタンスを継続することが見込まれます。

テメル政権は構造改革に取り組んでおり、2017年7月には労働法の改正が成立、今後はこれまでの硬直的な労働条件の改善が見込まれます。また、構造改革の目玉である社会保障改革にも取り組んでおり、年金制度を含む社会保障制度改革案（憲法改正）が下院で審議される予定です。但し、テメル大統領を取り巻く政治情勢の悪化が改革の進捗に影響を与える可能性があり、今後の動きを注視します。

通貨レアルは引き続き底堅い動きを見込んでいます。貿易・経常収支の改善や潤沢な外貨準備高などが相場を下支えすると見えています。

### <SMBCフレンド・HSBC ブラジル債券ファンド（毎月決算型）>

「ブラジル債券ニューマザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

### <ブラジル債券ニューマザーファンド>

世界でも利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

#### 金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルレアル建債券を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルレアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことで、

ただし、債券を購入するための為替取引に対しては当作成期末現在の課税は0%です。一方、債券の売買、ブラジルレアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルレアル建ての債券を購入いたします。その際、為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに債券を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

◎1万口当たりの費用明細

項目	作成期間(第103期～第108期)		項目の概要
	2017/4/25～2017/10/23		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 56	% 0.781	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(25)	(0.350)	ファンドの運用等の対価 (運用委託先への報酬が含まれます。)
( 販 売 会 社 )	(29)	(0.404)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	10	0.140	(b) その他費用＝作成期中のその他費用／作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 6 )	(0.087)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.014)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
( そ の 他 )	( 3 )	(0.039)	振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	66	0.921	
作成期中の平均基準価額は、7,230円です。			

(注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b)その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

◎親投資信託受益証券の設定、解約状況(2017年4月25日から2017年10月23日まで)

決 算 期	第 103 期 ～ 第 108 期			
	設 定 解 約			
	口 数	金 額		
	千口	千円	千口	千円
ブラジル債券ニューマザーファンド	6,083	12,019	84,166	167,378

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2017年4月25日から2017年10月23日まで）

親投資信託における当作成期中の利害関係人との取引状況

区 分	第 103 期 ～ 第 108 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 155	百万円 —	% —	百万円 310	百万円 81	% 26.1

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

（注）単位未満は切捨て。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2017年10月23日現在

種 類	第17作成期末	第 18 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ブラジル債券ニューマザーファンド	807,832	729,749	1,564,218

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

◎投資信託財産の構成

2017年10月23日現在

項 目	第 18 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル債券ニューマザーファンド	1,564,218	100.0
コール・ローン等、その他	678	0.0
投資信託財産総額	1,564,896	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）ブラジル債券ニューマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,550,141千円）の投資信託財産総額（1,564,935千円）に対する比率は99.1%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=113.89円、1ブラジルレアル=35.66円です。



◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年5月22日) (2017年6月22日) (2017年7月24日) (2017年8月22日) (2017年9月22日) (2017年10月23日)

項 目	第 103 期 末	第 104 期 末	第 105 期 末	第 106 期 末	第 107 期 末	第 108 期 末
(A) 資 産	1,481,116,812円	1,456,369,881円	1,556,060,531円	1,505,532,671円	1,589,141,721円	1,564,896,081円
ブラジル債券ニュー マザーファンド(評価額)	1,476,852,412	1,456,369,881	1,556,060,531	1,502,865,711	1,586,003,076	1,564,218,561
未 収 入 金	4,264,400	—	—	2,666,960	3,138,645	677,520
(B) 負 債	16,979,708	12,803,164	12,996,913	15,562,782	16,303,913	13,825,732
未 払 収 益 分 配 金	10,682,543	10,550,981	10,456,420	10,359,886	10,338,422	10,261,456
未 払 解 約 金	4,264,400	—	—	2,666,960	3,138,645	677,520
未 払 信 託 報 酬	1,882,509	1,946,561	2,069,679	1,912,475	2,040,520	2,070,843
そ の 他 未 払 費 用	150,256	305,622	470,814	623,461	786,326	815,913
(C) 純資産総額(A - B)	1,464,137,104	1,443,566,717	1,543,063,618	1,489,969,889	1,572,837,808	1,551,070,349
元 本	2,136,508,684	2,110,196,372	2,091,284,122	2,071,977,336	2,067,684,516	2,052,291,340
次 期 繰 越 損 益 金	△ 672,371,580	△ 666,629,655	△ 548,220,504	△ 582,007,447	△ 494,846,708	△ 501,220,991
(D) 受 益 権 総 口 数	2,136,508,684口	2,110,196,372口	2,091,284,122口	2,071,977,336口	2,067,684,516口	2,052,291,340口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,853円	6,841円	7,379円	7,191円	7,607円	7,558円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>

(注1) 当ファンドの第103期首元本額は2,161,181,704円、第103～108期中追加設定元本額は16,819,636円、第103～108期中一部解約元本額は125,710,000円です。

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## ◎損益の状況

項 目	自2017年4月25日 至2017年5月22日	自2017年5月23日 至2017年6月22日	自2017年6月23日 至2017年7月24日	自2017年7月25日 至2017年8月22日	自2017年8月23日 至2017年9月22日	自2017年 9月23日 至2017年10月23日
第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期	第 108 期	
(A) 有価証券売買損益	△ 67,735,269円	10,029,799円	125,071,025円	△ 26,480,845円	98,458,178円	2,269,899円
売 買 益	558,094	10,314,294	126,130,886	193,003	98,708,800	2,342,296
売 買 損	△ 68,293,363	△ 284,495	△ 1,059,861	△ 26,673,848	△ 250,622	△ 72,397
(B) 信託報酬等	△ 2,032,765	△ 2,101,927	△ 2,234,871	△ 2,065,122	△ 2,203,385	△ 2,100,430
(C) 当期損益金(A+B)	△ 69,768,034	7,927,872	122,836,154	△ 28,545,967	96,254,793	169,469
(D) 前期繰越損益金	△481,123,723	△553,865,710	△550,203,276	△432,606,950	△469,683,255	△380,874,888
(E) 追加信託差損益金	△110,797,280	△110,140,836	△110,396,962	△110,494,644	△111,079,824	△110,254,116
(配当等相当額)	( 5,435,486)	( 5,541,687)	( 5,800,446)	( 6,095,825)	( 6,320,772)	( 6,281,056)
(売買損益相当額)	(△116,232,766)	(△115,682,523)	(△116,197,408)	(△116,590,469)	(△117,400,596)	(△116,535,172)
(F) 計(C+D+E)	△661,689,037	△656,078,674	△537,764,084	△571,647,561	△484,508,286	△490,959,535
(G) 収益分配金	△ 10,682,543	△ 10,550,981	△ 10,456,420	△ 10,359,886	△ 10,338,422	△ 10,261,456
次期繰越損益金(F+G)	△672,371,580	△666,629,655	△548,220,504	△582,007,447	△494,846,708	△501,220,991
追加信託差損益金	△110,797,280	△110,140,836	△110,396,962	△110,494,644	△111,079,824	△110,254,116
(配当等相当額)	( 5,435,491)	( 5,553,506)	( 5,813,871)	( 6,103,622)	( 6,327,735)	( 6,281,065)
(売買損益相当額)	(△116,232,771)	(△115,694,342)	(△116,210,833)	(△116,598,266)	(△117,407,559)	(△116,535,181)
分配準備積立金	132,054,692	130,297,203	130,660,583	128,865,988	130,797,897	130,425,733
繰越損益金	△693,628,992	△686,786,022	△568,484,125	△600,378,791	△514,564,781	△521,392,608

(注 1) (A) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注 2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注 4) 第103期計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,960,781円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,435,491円)および分配準備積立金(132,776,454円)より分配対象収益は148,172,726円(10,000口当たり693円)であり、うち10,682,543円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

(注 5) 第104期計算期間末における費用控除後の配当等収益(10,536,429円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,553,506円)および分配準備積立金(130,311,755円)より分配対象収益は146,401,690円(10,000口当たり693円)であり、うち10,550,981円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

(注 6) 第105期計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,253,446円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,813,871円)および分配準備積立金(128,863,557円)より分配対象収益は146,930,874円(10,000口当たり702円)であり、うち10,456,420円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

(注 7) 第106期計算期間末における費用控除後の配当等収益(10,057,172円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(6,103,622円)および分配準備積立金(129,168,702円)より分配対象収益は145,329,496円(10,000口当たり701円)であり、うち10,359,886円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

(注 8) 第107期計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,755,253円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(6,327,735円)および分配準備積立金(128,381,066円)より分配対象収益は147,464,054円(10,000口当たり713円)であり、うち10,338,422円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

(注 9) 第108期計算期間末における費用控除後の配当等収益(10,829,815円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(6,281,065円)および分配準備積立金(129,857,374円)より分配対象収益は146,968,254円(10,000口当たり716円)であり、うち10,261,456円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

(注10) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、1,690,416円です。

## ◎分配金のお知らせ

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	50円	50円

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
  - 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
  - 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ◎分配原資の内訳

（単位：1万口当たり・税引前）

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
当期分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円
（対基準価額比率）	0.724%	0.726%	0.673%	0.691%	0.653%	0.657%
当期の収益	46円	49円	50円	48円	50円	50円
当期の収益以外	3円	0円	－円	1円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	643円	643円	652円	651円	663円	666円

- ◇「（対基準価額比率）」は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。
- ◇「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

**◆親投資信託「ブラジル債券ニューマザーファンド」の運用状況  
第9期（2016年10月25日～2017年10月23日）**

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にブラジルの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	%	%	%	百万円
第5期（2013年10月22日）	15,881	18.2	94.3	—	4,285
第6期（2014年10月22日）	16,685	5.1	96.2	—	3,055
第7期（2015年10月22日）	12,151	△27.2	95.2	—	1,686
第8期（2016年10月24日）	16,802	38.3	96.6	—	1,691
第9期（2017年10月23日）	21,435	27.6	96.5	—	1,564

(注1) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注2) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

◎当期中の基準価額等の推移

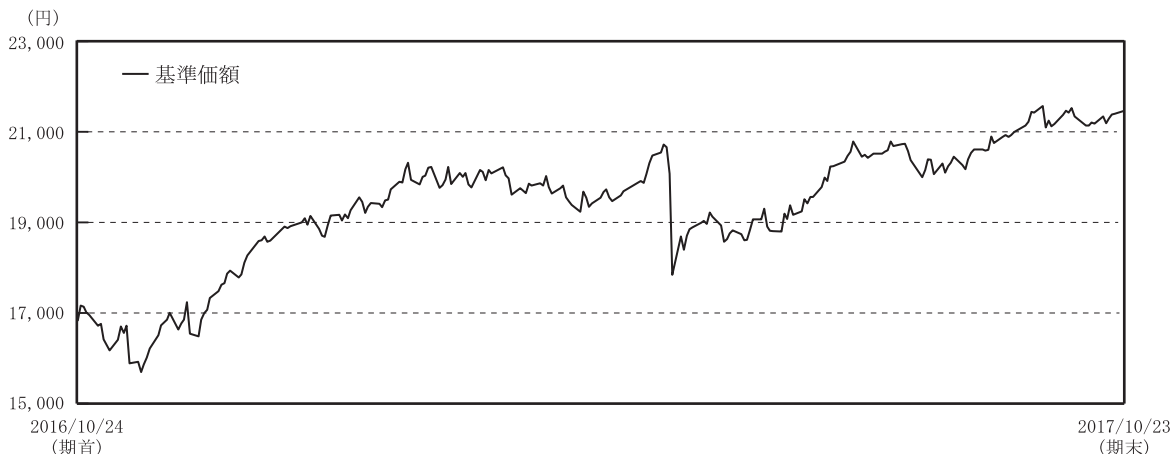
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2016年10月24日	円 16,802	% —		% 96.6	% —
10月末	16,680	△ 0.7		97.2	—
11月末	16,812	0.1		96.4	—
12月末	18,564	10.5		96.4	—
2017年 1月末	19,428	15.6		98.5	—
2月末	19,797	17.8		97.9	—
3月末	19,786	17.8		97.8	—
4月末	19,441	15.7		97.5	—
5月末	18,936	12.7		97.2	—
6月末	19,139	13.9		95.8	—
7月末	20,494	22.0		98.8	—
8月末	20,513	22.1		98.0	—
9月末	21,149	25.9		97.9	—
(期 末) 2017年10月23日	21,435	27.6		96.5	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ◎当期の運用状況と今後の運用方針

### 1. 基準価額等の推移について（第9期：2016年10月25日～2017年10月23日）



### 2. 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回り低下）と利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。また、ブラジルレアルが対円で上昇し、基準価額にプラスに働きました。

### 3. 投資環境について

#### 【債券市況】

ブラジル債券市場は、当期を通じて上昇基調（利回りは低下）をたどりました。債券市場上昇の主な背景としては、インフレ率の低下とブラジル中央銀行による連続的な利下げが挙げられます。

拡大消費者物価指数（IPCA）は、2016年10月の前年同月比+7.9%から2017年9月は+2.5%へと、当期を通じて、大幅に低下しました。インフレの沈静化を背景に、中央銀行は2016年10月に4年振りの利下げに踏み切り、その後も8会合連続の利下げを実施、2017年9月には政策金利を8.25%まで引き下げました。

#### 【為替相場】

ブラジルのインフレ率の低下や経常収支の改善などを背景に、レアルは対円で、当期初から2017年2月半ばまで上昇しました。その後は地政学リスクの高まりなどから安全資産とされる円が買われたことから、レアルも対円で下落しましたが、2017年6月下旬以降は、ブラジルの政治混乱の収束とこれに伴う改革前進への期待感などから、再び上昇相場となりました。当期を通じて見ると、レアルは対円で前期末比で上昇しました。

#### 4. ポートフォリオについて

残存期間1～5年のブラジル国債を中心に投資しました。種類別には、割引国債の組入比率を30～37%程度に保ち、固定利付債は61～70%程度、物価連動国債を1.4～1.5%程度としました。

#### 5. 今後の運用方針

##### 投資環境の見通し

ブラジル経済は回復局面に入っています。また、インフレ率は通貨レアルの堅調な推移や緊縮財政などから、引き続き落ち着いた推移が見込まれます。インフレ率は当面は目標中央値の4.5%を下回る見通しであり、中央銀行は金融緩和スタンスを継続することが見込まれます。

テメル政権は構造改革に取り組んでおり、2017年7月には労働法の改正が成立、今後はこれまでの硬直的な労働条件の改善が見込まれます。また、構造改革の目玉である社会保障改革にも取り組んでおり、年金制度を含む社会保障制度改革案（憲法改正）が下院で審議される予定です。但し、テメル大統領を取り巻く政治情勢の悪化が改革の進捗に影響を与える可能性があり、今後の動きを注視します。

通貨レアルは引き続き底堅い動きを見込んでいます。貿易・経常収支の改善や潤沢な外貨準備高などが相場を下支えすると見えています。

世界でも利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

##### ◎1万口当たりの費用明細（2016年10月25日から2017年10月23日まで）

項目	金額	比率
(a) その他費用	33円	0.170%
（保管費用）	(33)	(0.170)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	33	0.170

- ・期中のマザーファンドの平均基準価額は19,228円です。
- ・各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、6ページをご参照ください。

##### ◎当期中の売買及び取引の状況（2016年10月25日から2017年10月23日まで）

###### 公社債

			買付額	売付額
			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル
外国	ブラジル	国債証券	5,804	17,712

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2016年10月25日から2017年10月23日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為 替 直 物 取 引	百万円 522	百万円 —	% —	百万円 1,037	百万円 293	% 28.3

(注) 単位未満は切捨て。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細（2017年10月23日現在）

外国（外貨建）公社債

(A) 債券種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル 42,685	千ブラジルレアル 42,334	千円 1,509,631	% 96.5	% 96.5	% 33.0	% 31.6	% 31.8
合 計	42,685	42,334	1,509,631	96.5	96.5	33.0	31.6	31.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注5) B B 格以下組入比率は、スタンダード・アンド・プアーズ（S & P）の格付に基づいております。なお、B B 格とはB B +、B B、B B -を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ブラジル)		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
LTN 01/01/2019		—	8,515	7,841	279,644	2019/1/ 1
LTN 01/01/2020		—	880	741	26,428	2020/1/ 1
LTN 04/01/2019		—	915	825	29,453	2019/4/ 1
LTN 07/01/2019		—	6,000	5,299	188,982	2019/7/ 1
NTN-B 6% 08/15/2022	国債証券	6.0	200	645	23,006	2022/8/15
NTN-F 10% 01/01/2021		10.0	12,075	12,493	445,531	2021/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2023		10.0	5,200	5,353	190,891	2023/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2025		10.0	6,600	6,779	241,745	2025/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2027		10.0	2,300	2,354	83,945	2027/1/ 1
合 計	—	—	—	—	1,509,631	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。



◎投資信託財産の構成

2017年10月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	1,509,631	96.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	55,304	3.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,564,935	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建純資産 (1,550,141千円) の投資信託財産総額 (1,564,935千円) に対する比率は99.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=113.89円、1ブラジルレアル=35.66円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2017年10月23日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,567,529,045円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	26,419,446
公 社 債 ( 評 価 額 )	1,509,631,014
未 収 入 金	2,593,595
未 収 利 息	28,884,990
(B) 負 債	3,296,798
未 払 金	2,619,240
未 払 解 約 金	677,520
未 払 利 息	38
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	1,564,232,247
元 本	729,749,737
次 期 繰 越 損 益 金	834,482,510
(D) 受 益 権 総 口 数	729,749,737口
1万口当たり基準価額 ( C / D )	21,435円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額 (元本の欠損) となります。

≪ 注記事項 ≫

※期首元本額	1,006,780,761円
期中追加設定元本額	9,877,930円
期中一部解約元本額	286,908,954円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額  
 SMBCフレンド・HSBC ブラジル債券ファンド (毎月決算型)  
 729,749,737円

◎損益の状況

自2016年10月25日  
 至2017年10月23日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	163,544,714円
受 取 利 息	163,550,308
支 払 利 息	△ 5,594
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	228,566,148
売 買 損 益	233,508,744
売 買 損 益	△ 4,942,596
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,714,693
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	389,396,169
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	684,810,798
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,543,988
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 249,268,445
(H) 計 ( D + E + F + G )	834,482,510
次 期 繰 越 損 益 金 ( H )	834,482,510

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等の主なものは、保管費用等です。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◆お知らせ◆

<約款変更のお知らせ> ありません。

<その他のお知らせ> ありません。